

京都の福祉

発行 京都府社会福祉協議会



2010
3
No.498

本紙は、共同募金の
配分金によってつくられています。

主な記事

- 1面…もえくさ
- 2・3面…福祉施設のお店紹介
こみカフェ「ゆめ・はあと」
- 4・5面…きばってます！（向日市社協）／寄付お礼
- 6・7面…「あんしん貸貸支援事業」が始まっています
- 8面…夢中！・熱中！ふくしびと

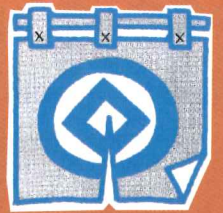


こみカフェ「ゆめ・はあと」のメンバー（記事は2・3頁）

もえくさ

▼年末年始に、娘がホームレスの炊出し支援に参加した。その公園には追悼のための『掲示板』が準備され、「名前」や「死因」「死亡場所」などが書かれていた。しかし、不明な点も多く「あだ名」や「年齢不詳」などの記載が目立つ。死因は、「溺死」「焼死」の他、「就寝中に車にひかれる」「刃物で刺される」など事故や犯罪に巻き込まれ死に至った人も多く、安心して死ぬことさえできないこの社会に驚いたという。▼1月31日に放送されたNHKスペシャル「無縁社会」『無縁死』3万2千人の衝撃』が、「他人事とは思えない」と多くの反響を呼んだ。12年連続3万人を超え、自殺率は先進国の中でワースト2位の日本。そのうえ、誰にも知られずに死に、遺体の引き取り手もない「無縁死」が、2008年だけで3万2千人にものぼるという（NHK調べ）。家族や会社とのつながりを失い、故郷にも帰れず孤立して生きる人々。かつて紡いできた『地縁』『血縁』の絆を失い、いまは雇用破壊のもとで『社縁』まで失われる。貧困とともに、『無縁社会』が深く広がっている。▼仕事帰りに、山田洋次監督の映画「おとうと」を観に行った。この映画の『おとうと』は酒を飲むと大暴れるので皆からひたすら迷惑がられ、帰るべき家も故郷もなく最後は病気になる、身寄りのない人のための民間施設「みどりのいえ」で姉や温かい職員に看取られる。あらためて、家族や地域、職場における絆をしみじみと考えさせられる。▼京都府社協では、こうした社会的孤立の課題を取り上げ「孤立を見逃さない地域づくり」に取り組んでいる。市町村社協や民生委員をはじめ地域の人々と「孤立」や「無縁」という「絶望」ではなく、「安心と希望」を地域で互

いにつなぐために。



福祉施設のお店紹介

こみカフェ「ゆめ・はあと」



こみカフェ「ゆめ・はあと」は、2008年5月にJR宇治駅から徒歩3分の駅前大通りに面したところにオープンしました。この場所は、観光地や商店街にも近く、住宅も多い宇治市の中心地です。今回は、「ゆめカフェ」オーナーの江崎さんと、協働運営者の「働きたいおんなたちのネットワーク」吉田さんに、「ゆめ・はあと」の魅力と地域との関わりについてお話を伺いました。

●初めてでも気軽に話せる場所

お店の中に入ると「いらっしやいませ」と明るいうちと笑顔がお客さんを迎えます。取材

当日の木曜日は「ゆめカフェ」のカレーランチの日で、店内にはカレーのスパイスリーナが漂っていました。和調の店内には、テーブル席が3つとカウンター、障子の向かい側には座敷もあります。当日はテーブル席は満席で、お客さんにはぎやかにおしゃべりを楽しみながら、食事をされていました。

業所をされてきた江崎さんは、ハンディのある方が通って来られる中で、作業所の仕事だけでなく、もっと自分達のできる居場所のようところが欲しい、という思いがあったそうです。ただ気持ちはあっても難しさを感じていたところ、偶然、この場所で居酒屋をされていた方からお店を閉めることになったので、次に利用しないかという声をかけられました。そこで「ゆめハウス」だけでお店を開くことに困難を感じたため、吉田さんと相談され、お店をしたい人たちが集まり、このカフェが生まれました。

●色々な役割をもつカフェの集まり

さりげなく相談できる居場所をテーマに、それぞれの曜日でカフェが展開されています。第2・4火・毎週木曜日の担当の「ゆめカフェ」

初めてのお客さんも気兼ねなく、お客さん同士、カフェの人とも会話が弾んでいるのに驚きます。

1999年からふれあいルーム「ゆめハウス」という作



働きたいおんなたちのネットワーク 吉田さん

「マクロビベジタブルカフェ」では、卵や乳製品、動物性の食材を一切使わないこだわったランチを提供し、アレルギーをもつ方の外食の機会として、また相談の場として利用できます。「まるごとわたしカフェ」では、女性のココロとカラダをまるごと受けとめるということをコンセプトに、食べるスープランチとともに、管理栄養士と子育てアドバイザーの保健師がスタンバイしています。

このカフェは食を通じた、アウトリーチの相談の場となっています。カウンセラーが構えて待っているのではなく、食事を用意し、「い

こみカフェは ただの飲食店ではなく コミュニティカフェ



は、おふくろの味のランチを食べながら江崎さんが障がい者相談を、「きりさんの地域ダイニング」の日は管理栄養士がげんきランチを用意しながら、食事の相談にのります。また「子育てカフェ」では、子どもと一緒にスイーツセットを食べながら、子育てのことを臨床心理士に相談できます。



「ゆめカフェ」江崎さん



カレーランチ (木曜日のメニュー)

アクセス



こみカフェ 住所: 宇治市宇治若森30-2

「ゆめカフェ」は火曜日はパンランチ、木曜日はカレーランチを提供されます。料理の担当は江崎さんで、寒い日にはカレーのスパイスとして生姜入りにする等、その日によって心配りは違います。またこだわりのコーヒーは、北海道から取り寄せている大豆コーヒーで、まろやかで香りが良いのが特徴です。担当は、ハンディをもつヒロさんで、このお店のマスター的存在です。母である江崎さんがこのお店の相談をした時に、自分からコーヒーの勉強され、北海道のお店まで教わりに行ったそうです。その甲斐あって評判は、「ヒロさんのコーヒーは優しい味」と上々です。「お客さんが上手に育ててくれるんです」と江崎さん。

江崎さんの活動のバックボーンとなっているのはハンディをもつ息子のヒロさんと共に20数年歩んできた「おもちゃライブラリー」や「作業所づくり」などの当事者組織の活動の中から育まれたのではないだろうか。当事者組織は、情報の共有や当事者同士の相互支援を行い、当事者ならではの本音での話し合いや、障がいについて考える場でもあります。また、障がい者が地域の中で安心して普通の暮らしが出来るように、その環境づくりを行政や関係機関に粘り強く働きかける事も重要な役割です。

江崎さんはこうした活動を続ける中で、身体にハンディがあってもなくても、1人ひとりが違って当たり前前小さな地域を実現することと思えます。

さらに相談できるカフェだけでなく、「団塊カフェ」では、サラリーマンの方がラーメン屋さんとして地域デビューし、月に一度このカフェで食べてもらう喜びを感じてもらえます。また「オーガニックランチ」の日は、元々料理好きで料理教室に通っていたお父さん世代の男性達が、このカフェを知り、月に一度集まる場として、また作った料理を食べってもらう場として活用されています。このようにユメを持った人達が、実現させることや集ま

る機会としてもこのカフェは大きな役割を持っています。

●「ゆめカフェ」のユメ

ひとつになっていければ、という思いが江崎さんにはあります。またいつも来られる高齢の方が来られない時に、今後は配食をしていきたいというユメを伺いました。

●地域に住むみんなの居場所

こみカフェは、食を通じて障がい者や地域の人同士をつなげることで、個々の知識や経験が個人の抱える課題を解決や良い方向に向かわせ、地域の力として生かされています。地域のクリスマスマスをカフェで開催される等



店の手伝いは作業所に通う方で、最初は「食事を運ぶこと」と「注文が聞けること」から始め、今では皆で出来るようになりました。次は、自分の好きなサラダが盛れることやその人が作ったオムレツを載せたオムカレーにする等、ひとりひとりのできることをカフェで生かしていきたい、そしてそれぞれが色んな人に出会って力にしたいって欲しい、さらにはカフェが就労支援の

こみカフェ「ゆめ・はあと」のカフェ	
ゆめカフェ	第2・4火曜日 毎週木曜日
きりさんの地域ダイニング	毎週金曜日 第4以外の月曜日
子育てカフェ	第4月曜日
マクロビ・ベジタブルカフェ	第3水曜日
まるごとわたしカフェ	第4水曜日
団塊カフェ	第3土曜日
ゆめカフェ「オーガニック・ランチ」	第4日曜日

きばってます!

～市町村社協の取り組み紹介～



向日市

地域サポーターが元気です。

制度の隙間をボランティア活動で取組み

向日市では平成18年度から、ヘルパーを退職した方が中心となり、介護を必要とする高齢者に寄り添った活動として在宅訪問ボランティアをされています。

介護保険制度の隙間を地域のボランティア活動として取り組むと、お話し相手（交流活動）、散歩活動、ゴミ捨てなどのメニューをつくり、仲間を増やしながら活動さ

れています。

個別のニーズは、地域包括支援センターの相談員や地域のケアマネジャーから寄せられ、介護サービスだけでなく、お話し相手を中心とした地域のつながりづくり（インフォーマルサポート）として「地域福祉の構築」をテーマに社協ボランティアコーディネーターがコーディネートしています。

『個別ニーズで地域とつながり、地域福祉を推進する』これは、

地域サポーターの皆さんが活動するうえでのテーマです。

向日市では、現在「高齢者見守り隊事業」を通じて、個別のニーズや課題から地域福祉を捉えなおそうと、民協、地区社協、サロン活動などのインフォーマルな組織と、行政、関係機関の専門職などのフォーマルな組織との連携を図り、地域福祉を推進しています。

① 推進検討会議：これ



高齢者見守り隊事業推進会議 “20の組織が揃う”

までの高齢者見守り隊事業で展開していた地域サポーター活動の目標や課題を整理し、社協の高齢者見守り隊事業計画を作成

② 推進会議：地域の各種関係・団体や行政や包括にも参加を呼び掛け、地域福祉推進のための目標や課題の共有

③ 地域サポーターネットワーク会議：インフォーマルサポートと地域包括支援センターや在宅介護支援センターの相談員、ケアマネジャーとの連携づくりのための



地域福祉推進研修会「夢のペットがやってくる」 “体験会の一コマ”



地域サポーター養成講座 認知症や作業療法を学ぶ

生命保険協会より城陽市社協に車両を寄贈

ご寄付ありがとうございました

平成22年1月20日(水)ハートピア京都にて京都府生命保険協会の車両の寄贈式が行なわれました。京都府生命保険協会は社会貢献事業の一貫として、生命保険社員の募金を基に、福祉巡回車の寄贈を毎年行なっています。本年は城陽市社会福祉協議会へ車両を寄贈しました。



生命保険協会鈴木敬治会長より城陽市社協山岡誠会長に車両キーが手渡される

自由同和会京都府本部様よりご寄付

平成21年12月28日に自由同和会京都府本部様よりご寄付をいただきました。京都府内のボランティア活動推進のために有効に使わせていただきます。ありがとうございました。

情報交換

④活動者研修会：地域での各種団体の横のつながりづくり

⑤見守り活動応援プラン：見守りが必要な高齢者にコミュニケーションツール「夢ペット」を貸出し、関係機関や地域（ボランティア・介護家族）、企業・研究者に協力していただき、地域づくりを検証する企画などさまざまな事業に取り

組んでいます。

地域福祉とは何か？答えはいろいろあると思いますが、社協ワーカーとしては「だれか特定の人を援助するための福祉ではなく、一人ひとりが住みやすい地域をつくるために『活動をする人』と『支援を必要とする人』が一緒になって取り組む福祉活動」だと考えています。

勇気ある一歩を支える「安心」

ボランティア保険

わずかな保険料で、傷害部分（ボランティア自身のケガ）と、賠償責任部分（活動中他人の身体・財物に損害を与えたとき）が補償されます。

保険料一名につき

Aプラン 300円 Bプラン 500円

ボランティア・福祉活動等行事保険

福祉事業総合補償制度

まごころワイド

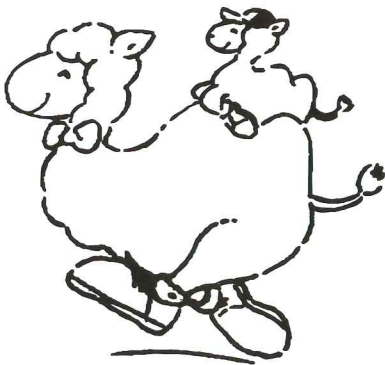
もありません

問い合わせ・申込先

(福) 京都府社会福祉協議会

京都市中京区竹屋町通烏丸東入る清水町375
TEL 075-252-6295

取扱代理店 株式会社エスアールエム
専用ダイヤル 075-822-8613
引受保険会社 三井住友海上火災保険株式会社



※この広告は保険の特徴を説明したものです。詳しくはパンフレットをご覧ください。 3-B-09.4059 2009年10月作成

「あんしん賃貸支援事業」が始まっています！

国土交通省において、部屋を借りたいのに「なかなか借りられない」高齢者世帯・障害のある方の世帯・外国人世帯・子育て世帯が、円滑に入居できるようにサポートすることを目的として、平成18年度に「あんしん賃貸支援事業」が創設されました。

背景としては、国の住宅政策の基本法となる「住生活基本法」（平成18年6月制定）等により、市場重視とストックの有効活用という新たな方向性が示され、そのなかで、市場原理に委ねるだけでは住宅確保が困難な人々に対する住宅セーフティネットを構築していくためには、公営住宅・公的住宅等を中核としつつ、民間賃貸住宅市場においても環境整備を進めていくことが必要とされたからです。

この事業は、国（国土交通省・厚生労働省）、地方公共団体（都道府県および市区町村）、不動産関係事業者団体、居住支援活動を行う支援団体等が関わり、相互に連携してそれぞれの役割を担い事業を進めています。



事業の対象となる方

- ① 高齢者世帯 単身の高齢者または高齢者がいる世帯
- ② 障害者世帯 単身の障害者または障害者がいる世帯
- ③ 外国人世帯 単身の外国人または外国人がいる世帯
- ④ 子育て世帯 小さい子どもがいる世帯、または一人親世帯



この事業の対象となるのは、上の①～④のいずれかに該当し、かつ民間賃貸住宅の家賃を安定して支払うことができ、地域社会の中で自立した日常生活を営むことができる方です。

詳しい条件等は、

京都府建設交通部住宅課（計画担当）

TEL 075（414）5361までご連絡ください。

■京都府ホームページ

<http://www.pref.kyoto.jp/jutaku/1211502217187.html>

あんしん賃貸支援団体を募っています！

京都府では、入居者をサポートするNPO法人や社会福祉法人等の「あんしん賃貸支援団体」を募集されています。

詳しいことは、京都府建設交通部住宅課（計画担当）

TEL 075（414）5361までご連絡ください。

■京都府ホームページ

<http://www.pref.kyoto.jp/jutaku/1211502217187.html>



協力店の目印は、「あんしん賃貸住宅協力店」のステッカーです。



事業の特徴

この事業では、地方公共団体、不動産仲介事業者、NPO・社会福祉法人等の関係事業者が連携して、高齢者等が円滑に入居できるようにサポート体制を整備します。

サポート 1

インターネットで「あんしん賃貸住宅」の情報公開をします

高齢者等の入居を受け入れることとする民間賃貸住宅を「あんしん賃貸住宅」として登録し、インターネットでデータベースの情報公開を行います。あんしん賃貸住宅の登録は都道府県等が行いますが、データベースの情報公開は（財）高齢者住宅財団が行います。

サポート 2

「あんしん賃貸住宅協力店」が物件の仲介をお手伝いします。

あんしん賃貸支援事業の趣旨に賛同し、物件の登録や仲介の協力をする仲介事業者を「あんしん賃貸住宅協力店（以下「協力店」という）」として都道府県等が登録し、その協力店が、高齢者等の入居のお手伝い（あんしん賃貸住宅の紹介）をします。

サポート 2

契約時から入居後まで「あんしん賃貸支援団体」がサポートします。

あんしん賃貸住宅に入居する場合には、NPOや社会福祉法人等の「あんしん賃貸支援団体（以下「支援団体」という）」が、高齢者等の入居希望者と家主の双方が抱える不安や心配事を解消するためのサポート（居住支援）をします。例えば、契約時の立ち会いや、高齢者や障害者等が入居後に具合が悪くなった時の対応、外国人には通訳等による契約事項や生活ルールの説明などをサポートします。地域によって、居住支援の内容は異なります。支援団体は、都道府県等に登録された団体で、市区町村と支援内容に関する協定等を交わしています。

社会福祉施設
総合損害補償

しせつの損害補償

ホームページでも内容を紹介しています。
<http://www.fukushihoken.co.jp>

安全・健全な施設運営のために！

プラン1
施設の業務中事故賠償補償

- ① 基本補償
 - 法人業務を包括的に補償
 - 賠償責任のない場合の見舞補償も充実
- ② 個人情報漏えい対応補償
 - 個人情報漏えいによる法律上の賠償責任を負った場合（おそれのある場合を含む）に補償
 - クレーム対応費用、見舞品購入費用等を補償

プラン2
施設利用者の傷害事故補償

- ① 入所型施設利用者
- ② 通所型施設利用者
- ③ 不特定多数利用者

プラン3
施設送迎車搭乗中の傷害事故補償

- 施設送迎車に搭乗中の傷害補償
- 施設の過失の有無は不問

プラン4
施設職員の災害事故補償

- ① 施設の労災上乗せ補償
- ② 施設職員の傷害事故補償
- ③ 施設職員の感染症罹患事故補償

プラン5
施設の什器・備品損害補償

- 施設内の什器・備品を幅広い範囲で補償
- 施設の現金等も補償

◆ 皆様のご信頼をいただき、全国多数の施設（法人）が加入！

- 全国社会福祉協議会のスケールメリットを活かし、充実した補償内容
- 団体契約のため有利な補償と割安な保険料（掛金）
- 迅速で丁寧かつ適正なお支払い

● この保険は全国社会福祉協議会が保険会社と一括して契約を行う団体契約（「賠償責任保険」「傷害保険」「労災総合保険」「約定履行費用保険」「動産総合保険」）です。

● 詳しい内容のお問い合わせは下記にお願いします

団体契約者
社会福祉法人
全国社会福祉協議会

取扱代理店
株式会社 福祉保険サービス
〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL: 03(3581)4667 FAX: 03(3581)4763
（引）受幹事保険会社 株式会社 損害保険ジャパン

夢中!・熱中!ふくいびと

～だから続けたいこの仕事～



福祉の現場で働く人たちの熱い思い・メッセージを伝える新コーナーです。京都市内で“熱い福祉”を“夢中”で実践している方々にスポットをあてて、元気や楽しさ、やりがいを“生”の声でお届けします。

共に泣き・共に笑い・共に歩みながら

精華町社会福祉協議会
主任ケアマネジャー

田邊 伸良さん

大学で福祉を専攻したことも特に志があったわけではなく、他の方に比べれば非常に薄い動機で高齢者福祉の現場で働くようになり10年以上になりますが、関わらせていただいたご利用者とそのご家族、そして同じ福祉観を持つ仲間が育てていただき、現在の自分が

あります。

在宅で様々なご家庭をお伺いさせていただけると、同じような環境の方はおられても、具体的な内容は個々で全く異なります。始めはその違いに戸惑い、どうすれば生活を支えられるのかと考え悩む日々でした。恥ずかしい話ですが、この頃はできないことを補う視点に囚われ、ご利用者自身に障害などがあっても、自らを肯定的に捉えておられる姿勢に気付いていなかったのです。つまり、対人援助やケアマネジメントの基本を理解せず、ただ目の前の実務をただこなしていたことになりました。この気付きを得たことは自身の大きな転機になるものでした。

また、業務に従事する上で、色々な専門職の方々と連携なしにご利用者への支援はありえません。特に自身の専門外である医療や介護の現場の方々とのかわりには、本当に教えられることが多く刺激になります。実際、悩むことや凹むことが日常茶飯事の中、気軽に相談でき、楽しさや辛さを共有できる仲間めぐり合えたからこそ、現在も福祉現場で業務を続けていける原動力となっています。

これらの経験は、本来閉鎖的で後ろ向きがちであった自分自身の性格も徐々に変えつつあります。もしくは変わったのではなく、自分自身を受け止める力を持てるようになった結果かもしれません。遅まきながらやっとスタートラインに立ち、歩き始めることができたことに感謝して、育てていただいた恩をしっかりと返さなきゃと思う毎日です。しっかりと向き合っていけるように専門的な技術を基本とし、共に泣き、共に笑い、共に歩みながらコミュニケーションを大切にしていきたいと思えます。そして、専門職としての責任（権利を守ること、地域の方の声を資源に活用したり制度に活かすことなど）も果たせるようにしたいです。小さなことでもコツコツと積み重ねた先には何があるでしょう。楽しみ（しみ）

～プロフィール～

施設名: (福) 精華町社会福祉協議会
氏名: 田邊 伸良
職種: 地域包括支援センター
主任ケアマネジャー
経験年数: 9年(社協在職)
好きな言葉: NOMUSIC NOLIFE
夢中なこと: 子育て

京都の福祉 毎月1日発行 昭和36年7月26日 第3種郵便物認可

発行所 京都府社会福祉協議会
発行人 森 育 寿

〒604-0874 京都市中京区竹屋町通烏丸東入る清水町375
TEL 075-252-6291 FAX 075-252-6310
URL <http://www.kyoshakyo.or.jp>

「京都の福祉」へのご意見、ご感想、
とりあげてほしいテーマなどをお寄せ下さい。
表紙の写真も募集中です。(テーマ「笑顔」)

本会へのご意見等は、左記URLの
「お問合せフォーム」を通じてお寄せください。

